

# 知多市教育委員会と知教労との話し合いまとめ

2014年9月30日(火) PM5:00～

知多市教育委員会

小宮教育長 澤田指導主事 深津指導主事

知多地方教職員労働組合

佐田執行委員長 岩澤副委員長  
岡崎書記長 内田副委員長

## 1. 労働安全衛生体制の遵法的運営について

### ・知多市労働安全衛生規定の周知を

**知教労（以下「組」）** 知教労が現職者の死亡を受けて申し入れをし、教育長名で通知も出たが、現状は大きな変化はおきていない。出退勤簿に土日の記録をしているところが少ない。記録の正しさの実態はどうか。

**教育長（以下「長」）** 再度「知多市学校職員安全衛生管理規定」の周知をし、校内での衛生委員会の定期開催、校内での長時間勤務者の把握を指示した。また、各小中学校の残業80時間以上の人数報告から、出退勤記録を全て市教委に出すように変えた。校長も意識しているのではないかと。まだ100%はつかんでいないが、努力の跡は分かっていると思う。ノー残業デーの実践もある。若い子が増えているので、ミドルリーダーの研修もしている。メンタルヘルスの面も話をしている。

**組** 現場では早く帰ると言うことだけを言って、職員の意識を高める衛生規定の周知になっていない。もっと劇的に代えてもらいたい。職員は出退勤時刻の記録をしても活用されないから、記録する気にならないのではないかと。勤務時間を減らすためにはどうするかという話し合いにつなげないと記録をつけても役に立たない。

**主事** 言われるとおり。大きな変化にはつながっていない。管理職の意識をもってもらうために校長・教頭会議で話をしている。明日の教頭会で生かしていきたい。数字だけではなく、集計を出してくれるので、その都度推進委員会を開いて議論できるのが当たり前になるような職場を作っていく。

### ・産業医による職場点検、是正指導の問題

**組** 担当医が本来の産業医という意識から遠い。産業医に自分が面談の理由を説明をしないといけなかった。医師に面談の目的を伝えておくべきだ。また、産業医として職場の是正指導を勧告するように頼んだが断われたので、こちらが産業医の意味を教えた。

**長** 担当医に面接者の情報を伝えておくようにする。要望は受けておく。

### ・長時間労働削減の具体的措置

**組** 部活は長時間労働の大きな原因である。朝部を止めると、教員の労働時間は減っていく。

**長** 都市教育長会で、小牧と豊明の朝部の話は聞いている。冬は授業後に時間がなくなるので、朝もやりたい。夏はやらないという限定でやっていく方法もある。話を聞きながら進め、こちらから押しつけることは止めたい。

**組** 長時間労働の大きな原因は部活動かと思っているがどうか。

**長** 文科省がどうして勤務の中に入れていないのかわからない。長時間労働は、部活動が大きな比重を占めている。根本的なことを変えて国が受け皿を作らないと、子どもたちがかわいそうだ。オリンピックに出るほどのものは、特定のスポーツに限られてしまう。得意なスポーツを選べないのが問題。組合の要求として部活動をとってほしい。しかし、学習だけだと学校が塾化してしまう。

**組** 文科省は学校教育から切り離して行く方向だが、どうか。

長 学校の中から部活動をなくしないと長時間労働解消は無理ではないか。

組 大会があるから部活動が加熱してしまう。生徒が希望する部活動があるとは限らない。

長 無所属の生徒がいてもかまわない。

組 先生の希望で、顧問を必ずやらなくてもよいとはならないか。第2顧問でも大会で土日に働かないといけない。だれも顧問が見つからない部があれば、どうするか。

長 外部指導員を見つけてやっていただくようにする。顧問は第2のような立場でやってもらうことになる。

組 外部指導員がいても、顧問は学校の先生なら、勤務時間は長くなる。名古屋は先生も部活動選択が自由になっている。

長 午後の活動時間が十分に確保できる夏期については、朝部活をなしにすることも考えてよいのではないか。また、週休2日になったので、土日のどちらかを休めば現状より負担が減るだろう。

### ・「あいち・出会いと体験の道場推進事業」からの撤退を

組 市全体はやめ、学校独自の取り組みにして、参加・不参加を決められるようにしてほしい。

長 第1、第2次産業での体験が難しく、第3次産業に偏っていることなど課題があることは十分に理解している。それでもこの取り組みは意義のあることだと考えているので、子どもたちが働く人と出会う場をなくすことは考えていない。ただ、学年の取り組みについて立案もままならない時期に書類を提出しなければならないことなど、担当学年への負担が大きいことはこちらも把握しているので、そのことは教育長会議などでも今後話題にしていきたい。

組 教員の中でも賛否が分かれているが、他の行いたい行事を入れられない。各学校で選択や議論の余地がほしい。取り組めば生徒に好評だが、参加したかどうかの確認などたいへんである。市で決めると校内で議論もできない。

自衛隊の体験も問題になっている。武器を触らせたり、匍匐前進をしたりしている。市内でも行われたことがあった。自衛隊員が海外へ出動したときに、教え子を出すことにつながる。

長 職業の一環として考えると選択肢の一つ。今は、9条があるからいいのではないか。

## 2. 「全国学力調査」の取り扱いについて

組 4月からの教委制度が変わっても学校別の平均点等を公表しないでほしい。

長 知多市はやらない。決定権はこちらにある。

## 3. 副教材・副読本等の選定・採択について

組 担当者が選択できない。ほとんど使わないものもあるのが実態だ。それならば買わないという選択もある。前年度に決定するという採択のあり方に問題がある。

長 要望は分かっている。何を削るかということになる。知多教育長会で話題にしたい。

## 4. 教育条件整備について

組 古い学校はプロジェクターの取り合いになってきた。選定の過程で何を何台ほしいかなどの議論が見えない。現場の声を反映してほしい。インターネットもセキュリティブロックが高すぎて、必要な資料を見せることができない。テレビも基準に合わせ、各教室1台ずつ入れてほしい。

長 個人情報保護でより厳しくなっているが、教室での使用については先生がいるという条件で使えるようにしたい。テレビは、他の安全設備と優先順位をつけてやっている。

